



tv asahi

テレビ朝日ホールディングス

第82期 報告書

2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日



証券コード：9409

10th *Gochan* ANNIVERSARY

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第82期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)は、連結売上高2,982億円(前期比+12.7%)、営業利益214億円(同+48.7%)と大幅な増収増益となりました。一部にコロナ禍の影響もありましたが、前期に落ち込んだテレビ広告市況のリバウンドや増収策など各種取り組みの成果もあり、営業利益は過去最高となりました。

スタートから2年が経過した経営計画「テレビ朝日360° 2020-2025」ですが、テレビ朝日のコンテンツ部門とビジネス部門を一体運用するために新設したビジネスソリューション本部を中心に、様々な施策を機動的に実施したことが増収へとつながりました。また、コロナ禍の巣籠り需要も取り込みながら、通販特番の放送などショッピング事業を戦略的に展開したことも大きな成果となりました。

インターネットでは、毎月定額の動画配信サービス「TELASA」、インターネット多チャンネル配信「ABEMA」、デジタル広告配信の「UltraImpression(ウルトラインプレッション)」、見逃した番組を視聴できる「テレ朝キャッチアップ」(TVer等で提供)など、幅広い取り組みを行っています。本年4月からは、プライム帯の番組を中心にTVerでのリアルタイム配信もスタートし、サービス強化に努めています。今後は最新テクノロジーを活用したメタバース等の取り組みもより積極的に展開してまいります。

また、メディアシティ戦略の一環として、臨海副都心の有明南地区にエンタテインメントとテクノロジーの融合する発信拠点を建設予定です。当社グループの情報発信力を強化すべく、現在、詳細な建設計画とビジネスプランを策定中です。あわせて7月23日からは、3年ぶりとなる「テレビ朝日・六本木ヒルズ SUMMER STATION」を開催します。リアルとデジタルを融合させ、六本木でもご

自宅でも楽しめる新しいサマーステーションへとアップデートしていきますので、ご期待ください。

これら企業価値向上の取り組みを盤石なものとするため、サステナビリティに関する取り組みも積極的に推進しています。昨年12月に「SDGs推進室」を設置したことに加え、テレビ朝日グループの「サステナビリティ宣言」、「未来に向けた5つの重点テーマ」の策定を行いました。持続可能な社会の実現に向けて自ら取り組むことはもちろんのこと、メディア企業としてSDGs関連コンテンツを制作し、SDGsの目標達成に貢献します。

今後コロナ禍や不安定な世界情勢が落ち着いたとしても、人々のデジタルシフトの動きは加速していくと想定しています。テレビ広告市況など厳しい状況となることも懸念されます。一方、デジタル化の進展は「コンテンツ」の重要性や需要が高まる大きなチャンスでもあります。

テレビ朝日グループが末永く視聴者やお客様から必要とされる企業であり続けられるよう、私どもは変化を恐れずチャレンジを続け、デジタル時代の“新しいテレビ局”へと進化してまいります。株主の皆様のご期待に沿えるよう尽力してまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2022年6月

代表取締役会長

早河洋





サステナビリティへの取り組み

テレビ朝日およびテレビ朝日ホールディングスでは、より一層、サステナビリティに関する取り組みを加速させるため、2021年12月1日に「SDGs推進室」を新設しました。

サステナビリティへの取り組みを推進するうえでの基本的な考え方を整理し、テレビ朝日グループにとっての重点課題(マテリアリティ)を「未来に向けた5つの重点テーマ」として決めました。このテーマに沿って、活動を進めていきます。

未来に向けた5つの重点テーマ



ホームページ
のご案内



5月にサステナビリティサイトをリニューアルしました。サステナビリティに関する番組やイベント、企業活動についてご覧いただけます。

テレビ朝日 サステナビリティ で 検索 <https://www.tv-asahihd.co.jp/sustainability/>

テレビ朝日では、1週間にわたりSDGsをテーマにした企画や特集を集中して放送する「未来をここから×SDGs」ウィークを定期的 to 実施しております。テレビ朝日のすべての報道情報番組が参加しており、各番組が17の目標の中からテーマを取り上げ、メッセージを発信しています。2022年1月、4月と実施しており、今後も続けていきます。

未来をここから
プロジェクト
THE FUTURE STARTS HERE



SDGs

連結業績ハイライト

東京オリンピック中継、連続ドラマ、報道番組が高視聴率を獲得！ タイム・スポット収入の大幅増収に伴い、増収増益となりました。

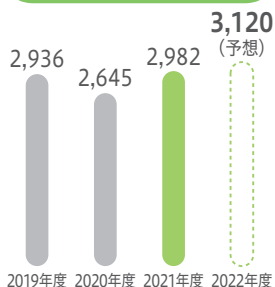
長引く新型コロナウイルス感染症の影響下にありながらも、厳しい状況は徐々に緩和され、テレビ広告市況におきましても、東京地区のスポット広告の出稿量がコロナ禍で低迷した前期を大きく上回り、好調に推移しました。

こうした経済状況のなか、連結決算における売上高は、テレビ放送事業におけるタイム収入、スポット収入の大幅な増収に伴い2,982億7千6百万円(前期比+12.7%)となり、営業利益は214億3千1百万円(同+48.7%)となりました。また、経常利益は264億4千3百万円(同+47.1%)、親会社株主に帰属する当期純利益は209億9千9百万円(同+66.7%)となりました。

		2019年度	2020年度	2021年度
売上高	(億円)	2,936	2,645	2,982
営業利益	(億円)	125	144	214
経常利益	(億円)	320	179	264
親会社株主に帰属する当期純利益	(億円)	263	126	209
総資産	(億円)	4,475	4,737	4,988
純資産	(億円)	3,525	3,761	3,932
1株当たり当期純利益	(億円)	248.58	122.08	206.80
自己資本当期純利益率	(億円)	7.5	3.5	5.5
営業活動によるキャッシュ・フロー	(億円)	245	205	301
投資活動によるキャッシュ・フロー	(億円)	△164	△79	76
財務活動によるキャッシュ・フロー	(億円)	△98	△82	△45
1株当たり年間配当金	(円)	40	40	50
配当性向	(%)	16.1	32.8	24.2

売上高

(億円)



営業利益

(億円)



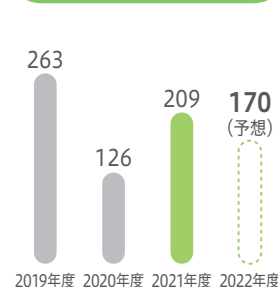
経常利益

(億円)



親会社株主に帰属する 当期純利益

(億円)



ホームページの
ご案内



テレビ朝日 IR

検索

<https://www.tv-asahi.co.jp/IR/>

当社IRサイトでは、決算短信、有価証券報告書、決算説明会資料など、株主・投資家の皆様のための情報をご覧いただけます。

事業別活動報告

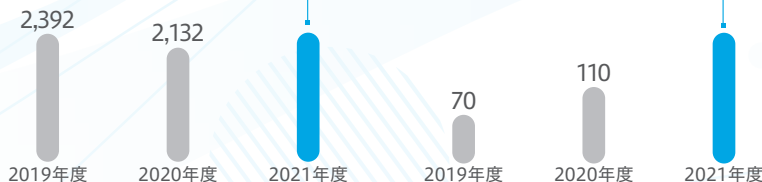
事業別売上高、営業利益はセグメント間取引調整前のものです。

売上高 **2,413**億円(前期比**13.2%**増)

営業利益 **188**億円(前期比**70.4%**増)



テレビ放送事業

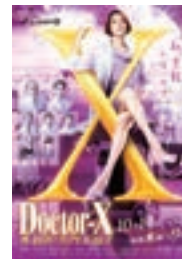


2021年度の平均視聴率は、全日視聴率(6時～24時)では個人全体3.8%で2位、世帯7.2%で1位、ゴールデンタイム(19時～22時)は個人全体5.8%で民放2位、世帯では10.1%で民放1位、プライムタイム(19時～23時)では個人全体5.8%、世帯10.3%でともに1位となり、各区分ともトップグループの視聴率を維持しております。また、個人全体でのプライムタイムトップは、9年ぶり開局以来2回目、世帯では開局以来初の民放3冠となりました。

ゴールデン・プライム帯では、10月にリニューアルした「報道ステーション」をはじめ、「サタデーステーション」、「サンデーステーション」とプライム帯ニュースベルト番組がそれぞれ好結果を残しました。特に「報道ステーション」は、年度平均では自己最長となる3年連続同時間帯トップを獲得しました。

また、全日帯では、「羽鳥慎一モーニングショー」が個人全体視聴率で自己最高を更新し、2年連続の同時間帯トップ、「じゅん散歩」「大下容子ワイド! スクランプル」と午前帯のベルト番組が良い流れを作り、10月クールの日全日帯トップに貢献しました。

連続ドラマでは、当期に放送された民放連続ドラマの個人全体視聴率平均でトップとなった「ドクターX～外科医・大門未知子～(平均:個人全体9.7%、世帯16.5%)」を含め、「相棒season20(平均:個人全体7.6%、世帯13.5%)」「特捜9(平均:個人全体7.2%、世帯13.2%)」、「緊急取調室(平均:個人全体6.7%、世帯12.2%)」の4作品が年度トップ10にランクインしました。



「ドクターX～外科医・大門未知子～」

そして、バラエティー番組では、「ザワつく!金曜日」「マツコ&有吉かりそめ天国」「サンドウィッチマン&芦田愛菜の博士ちゃん」など週末の番組が高い視聴率を記録しました。

スポーツでは、夏の東京オリンピックで「ソフトボール決勝 日本×アメリカ」(個人全体14.5%、世帯23.0%)などが高視聴率となり、全中継平均で民放トップを獲得したほか、冬の北京オリンピックでは「フィギュアスケート 女子フリー」(個人全体11.4%、世帯19.0%)などが高視聴率となりました。



「羽鳥慎一モーニングショー」



「マツコ&有吉かりそめ天国」

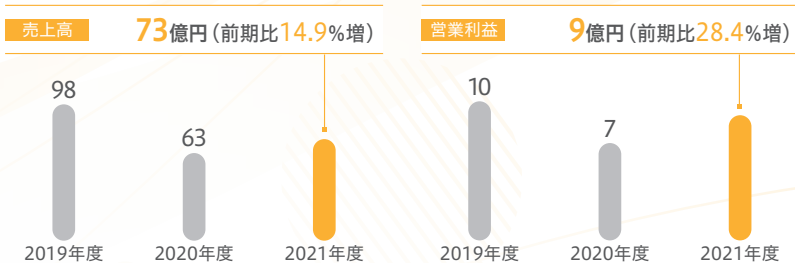


「相棒season20」

事業別活動報告



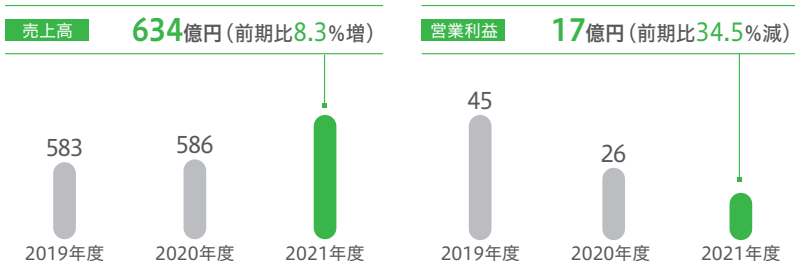
音楽出版事業



前期は新型コロナウイルス感染症の影響により、所属アーティストのコンサートツアーを含む音楽イベントの開催を見送ったものの、当期は「平井大」「湘南乃風」及び「ソナーポケット」が全国ツアーを実施したことなどにより、増収増益となりました。



その他事業



◆**インターネット事業** 2020年4月にKDDI株式会社との共同事業として始めたSVOD(定額制動画配信)サービス「TELASA」がテレビ朝日の番組と連動したTELASAオリジナルコンテンツを積極的に展開し、会員数を順調に伸ばしており、事業も拡大しております。今後200万人という目標へ向け、コンテンツの充実に邁進してまいります。株式会社サイバーエージェントとの共同事業「ABEMA」は、サービス開始からの目標であった1,000万WAU(ウィークリーアクティブユーザー)を恒常的に達成、有料の「プレミアム」会員も増えており、無料・有料ともに堅調に推移しました。「ABEMA NEWS」は注目度の高いコロナ関連ニュース・記者会見等や災害情報をリアルタイムで配信。報道特番などもタイムリーに編成し、緊急時の「生活インフラ」としても定着しつつあります。無料見逃し動画配信サービスを提供している「TVer」は、2021年8月に累計アプリダウンロード数が4,000万を突破し、月間ユニークブラウザ数も好調に推移しております。2022年4月からはプライム帯を中心に地上波放送のリアルタイム配信を開始し、新たなビジネスとして成長させていく予定であります。また、動画広告配信プラットフォームを構築・運用する連結子会社の株式会社UltraImpressionは、精度の高いデータに基づく多彩なターゲティングができることが好評で、見逃し動画配信での広告を中心に大きく業績を伸ばしております。

◆**イベント事業** コロナ禍の厳しい制限が続くなか、出資案件の「フジロックフェスティバル」「SUPER SONIC」、自主案件の「テレビ朝日ドリームフェスティバル」など、大型音楽ライブイベントを実施。またここ数年のタイドラマブームに応える形で、タイGMMTV社と連携した「GMMTV展」や人気俳優のオンラインファンミーティングなどの新規イベントも手掛けたことにより、増収となりました。

◆**ショッピング事業** ショッピング事業は、年間を通して定期的に放送した通販特番「坂上くんが試してみた!!」や「今田耕司★ヒットの世界」で好調に売上を伸ばし、レギュラーで放送している「じゅん散歩」の安定的な売上とともに大幅な増収となりました。また深夜で新たな通販番組「東京トキメキ百貨店」を開始するなど、テレビ朝日グループとしてショッピング事業の強化を図っております。

◆**出資映画事業** 2021年春の公開を予定していた「映画ドラえもん のび太の宇宙小戦争 2021」がコロナ禍で1年延期となりましたが、2022年3月4日に公開し、好評を博しております。「映画クレヨンしんちゃん 謎メキ!花の天カス学園」は興行収入17億7千万円と好調だったほか、シリーズ20周年の集大成となる映画「科捜研の女 -劇場版-」を公開しました。

2022年度の株主様向け優待のご案内

対象の株主様は、以下①～③の中から優待を選択いただき、期限までにお申込みください。

お申込み後の商品の変更はお受けできませんので、あらかじめご了承ください。

※ 優待品の発送は、9月下旬を予定しております。

対象となる株主様

2022年3月31日(木)時点の株主名簿に記載または記録された株主様のうち、
「500株以上を2年以上継続して保有する」株主様。

お申込み方法

対象の株主様のみに、「株主様優待品申込書」を同封しておりますので、必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。

お申込み期限

2022年7月22日(金)必着

①QUOカード(1,000円)



本優待品のために、アナウンサー自ら写真を撮影、プロデュースしたオリジナルデザインです。

左からテレビ朝日アナウンサー 佐々木快、森山みなみ、田原明々、弘中綾香、斎藤ちはる、駒見直音

撮影:テレビ朝日アナウンサー 本間智恵

※ 写真撮影時のみマスクを外しております。

②保冷バッグ



回収されたペットボトル等を原料とする、再生繊維を使用した環境にやさしいエコな素材の保冷バッグです。

本体:約40×25×18cm(持ち手含まず)

容量:約9L

(※ いただいた個人情報は、株主様向け優待に関するお手続きのためのみに利用させていただきます。)

③寄付

お申込み1件あたり1,000円を、社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団へ当社より寄付いたします。

※ 領収書の発行はいたしかねますので、ご了承ください。

<社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団>

1951年制定の社会福祉事業法(2000年社会福祉法に法名改正)に基づき、社会福祉の増進を図ることを目的として、第二種社会福祉事業を行う社会福祉法人として申請・認可されたもので、発足以来、株式会社テレビ朝日と連携して、テレビ局の特性を生かし、「児童福祉」「障がい者福祉」「高齢者福祉」「母子福祉」など、時代の要請に応える活動を展開しております。

株主様優待品お問合せ先 0120-782-031

※土曜・日曜・祝日および12/31～1/3を除く9時～17時
事務代行:三井住友信託銀行株式会社

上記以外の「株主様向け優待」に関するお知らせ

「題名のない音楽会」の収録見学、および、本社ビル施設の見学会などにつきましては、昨年度に引き続き、本年度も開催は未定となっております。新型コロナウイルス感染症の影響等を見極めたうえで、今後、再開できる状況となりましたら、改めて告知させていただきます。何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

株主様ご優待 お問合せ専用番号

0120-532-510

10時～18時 ※日曜・祝日・12/29～1/3は除く

会社情報／株主情報 (2022年3月31日現在)

会社の概要

商号 株式会社 テレビ朝日ホールディングス
(TV Asahi Holdings Corporation)
設立 1957年11月1日
資本金 366億7,730万円
本店所在地 〒106-8001 東京都港区六本木六丁目9番1号
事業内容 株式等の保有を通じて企業グループの統括・運営等をおこなう認定放送持株会社

役員 (2022年6月29日現在)

代表取締役会長	早河 洋	取締役	手塚 治
代表取締役社長	篠塚 浩	取締役	中村 史郎
取締役	役 武田 徹	取締役(監査等委員)	佐々木 克己
取締役	役 角南 源五	取締役(監査等委員)	池田 克彦
取締役	役 高田 覚	取締役(監査等委員)	弦間 明
取締役	役 板橋 順二	取締役(監査等委員)	藤重 貞慶
取締役	役 西 新	取締役(監査等委員)	宮田 桂子
取締役	役 見城 美枝子		

(注) 見城 美枝子、手塚 治、中村 史郎、池田 克彦、弦間 明、藤重 貞慶、宮田 桂子の各氏は、社外取締役であります。

株式状況

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
300,000,000株	108,529,000株	20,796名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社朝日新聞社	26,151,840	24.73
東映株式会社	18,522,900	17.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,208,800	6.81
公益財団法人香雪美術館	5,030,000	4.75
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 大日本印刷口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	4,030,000	3.81
九州朝日放送株式会社	3,333,500	3.15
公益財団法人朝日新聞文化財団	2,297,100	2.17
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,223,600	2.10
朝日放送グループホールディングス株式会社	1,572,000	1.48
株式会社講談社	1,364,000	1.29

(注) 持株比率は、自己株式(2,800,320株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 https://www.tv-asahihd.co.jp/ ただし、ホームページに掲載できない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する朝日新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京証券取引所
外国人等の株主名簿への記載または記録の制限	当社の定款には次の規定があります。 定款第10条 本公司は、次の各号のいずれかに掲げる者から、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより、次の各号に掲げる者の有する議決権の総数が、総株主の議決権の5分の1以上を占めることになるときは、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することを拒むものとする。 1. 日本の国籍を有しない人 2. 外国政府またはその代表者 3. 外国の法人または団体 4. 上記1.ないし3.の各号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体 ②本公司は、法令の定めに従い、前項各号に掲げる者が有する株式について、株主名簿への記載もしくは記録の制限または議決権の制限を行うことができるものとする。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1
電話 (03)6406-1115 URL <https://www.tv-asahihd.co.jp/>